せいけん詩集

第九篇

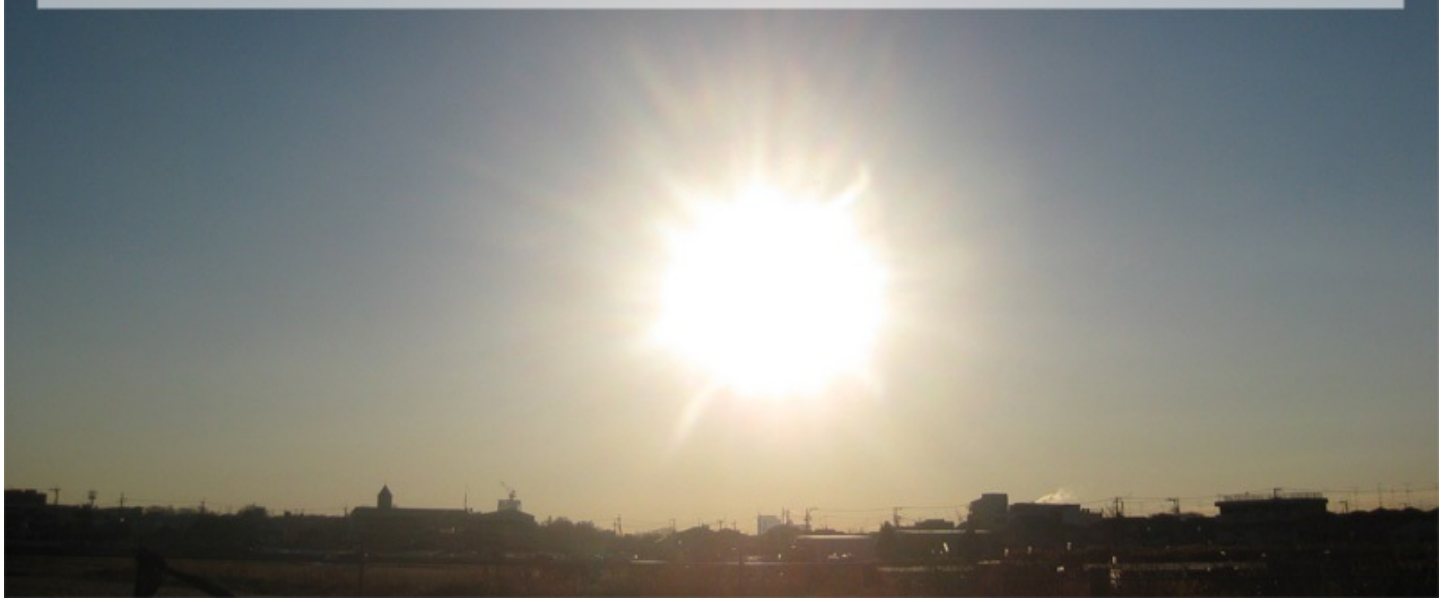
作：近藤せいけん

「チャンス」

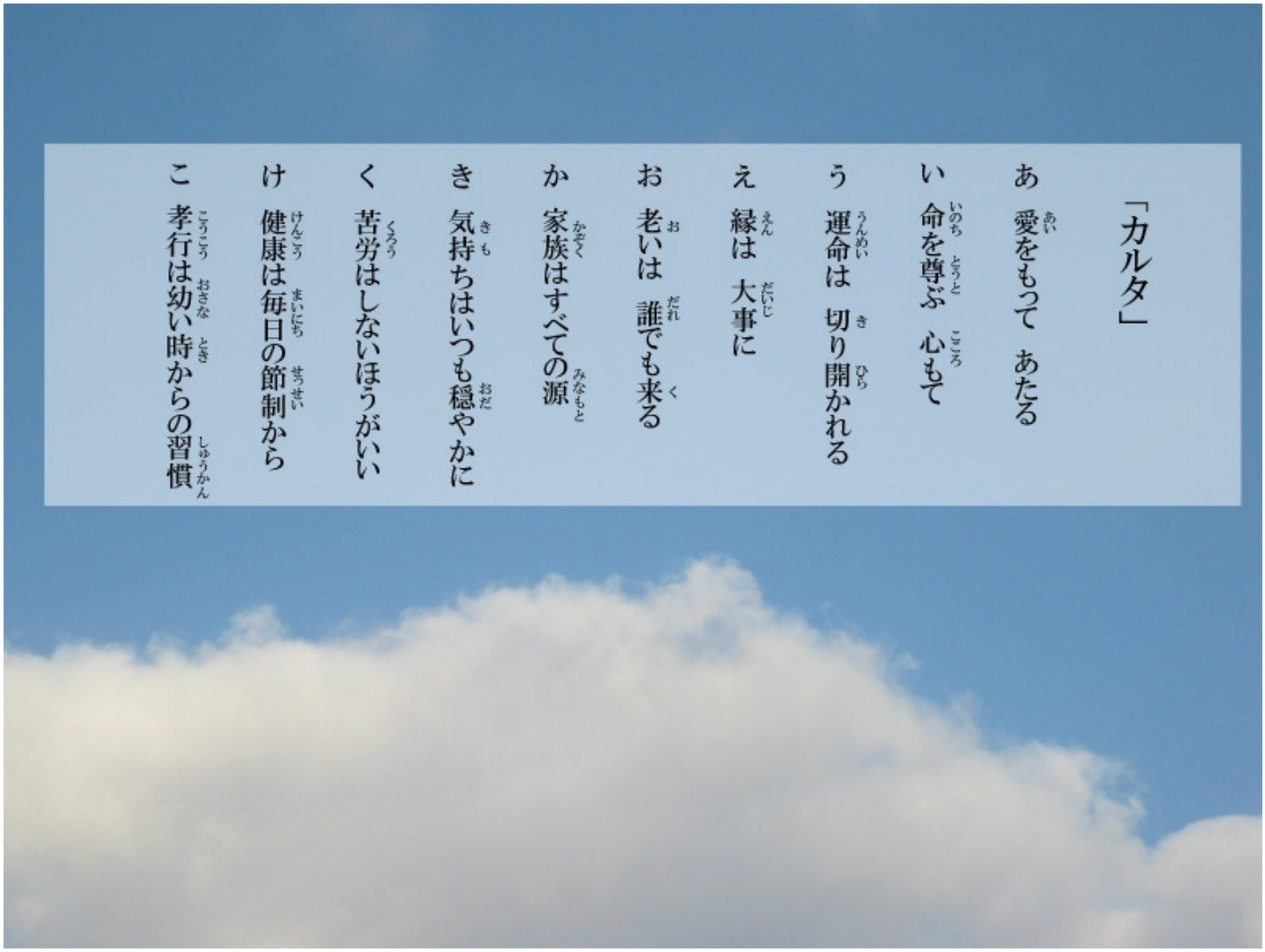
人生(じんせい)に　逆境(ぎゃっきょう)のときが　ある
逆境(ぎゃっきょう)をぬけだす　チャンスが
誰(だれ)にでも　必(かなら)ずある

チャンスを
いかすか
いかさないか

それは　あなたがきめること
一歩(いっぽ)　踏(ふ)み出(だ)す
一歩(いっぽ)　前(まえ)に行(い)くかで
道(みち)はひらかれる



「一日一歩」
一日一歩
十日で十歩



「カルタ」

あ　愛をもって　あたる
い　命を尊ぶ　心もて
う　運命は　切り開かれる
え　縁は　大事に
お　老いは　誰でも来る
か　家族はすべての源
き　気持ちはいつも穏やかに
く　苦労はしないほうがいい
け　健康は毎日の節制から
こ　孝行は幼い時からの習慣

「節分」

鬼はそと　福はうち
鬼はそと　福はうち
幼子が　豆をまく
鬼びとが　逃げまわる
パラパラと　豆が舞う
幼子の声が　はずむ
もうすぐ　もうすぐ
春

鬼はそと　福はうち
鬼はそと　福はうち
幼子が　いきおいよく
鬼びとの　面に豆を
ぶつける
追っかける　幼子の
笑い声　はずむ息
もうすぐ　もうすぐ
春